

令和8年度予算案のEBPM「社会的養護魅力発信等事業」

課題データ

児童養護施設等の職員の確保及び定着は喫緊の課題であるが、学生向けの広報啓発活動や各施設等での職場体験、施設職員の就業継続を支援することなど、人材確保に関する取組を児童養護施設等が単独で実施することは難しく、働く場所として児童養護施設等の魅力発信の支援を行う必要がある。

事業

社会的養護魅力発信等事業

令和8年度当初予算案：20百万円

公募により選定された民間団体に補助を行い、

- ・児童養護施設等で働くことの魅力や社会的養護の基礎的な知識等について、WEBサイト、インターネット広告、SNS等を利用した広報啓発活動を実施する。
- ・児童養護施設等で働くことを目指す学生や過去に児童養護施設等の職員として働いた経験のある人、もしくはこれまで社会的養護の分野に触れる機会がなかった人等に対し各施設等での職場体験等の機会に関する情報提供を行う。
- ・仕事の悩みを抱える施設職員に対する相談支援の場を設けるため、オンライン等でのピアサポートを実施する。

※アウトプット、アウトカムの（）内は直近の実績値

アウトプット

養成校への出張授業実施回数
2025年度 **30**回 (30回)

ピアサポート（内定者・新任職員向け研修）の実施回数
2025年度 **9**回 (9回)

短期 アウトカム

養成校への出張授業参加延べ人数
2025年度 **1,166**人 (1,166人)

ピアサポート（内定者・新任職員向け研修）参加延べ人数
2025年度 **273**人 (273人)

中期 アウトカム

—

長期 アウトカム

養成校への出張授業に参加した人のうち、「児童養護施設への就職希望度合いや興味関心に変化があった」と思う人の割合
2025年度 **70%** (70.1%)

ピアサポート（内定者・新任職員向け研修）に参加した人のうち、「仕事に対するモチベーションがあがった」と思う人の割合
2025年度 **70%** (86.5%)

目標

こども・若者の権利保障と
その視点の尊重、意見聴取と対話

良好な成育環境の提供

すべてのこども・若者の
健やかな成長の保障

結婚・子育てに関する希望の形成と
その実現を阻む隘路の打破

こども・若者の幸福な生活 / 少子化トレンドを大きく変える / 未来を担う人材の育み